

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	シャシ整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年前期	木曜日	3・4時限
時 限 数	26時限		
担当教員名	廣石 泰大		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる二輪自動車シャシの整備知識についての講義を実施する。		
授業の目的	シャシ各部の構造・作動の再確認をしながら、二輪車ならではの装置の解説を行う。		
テキスト	①二級二輪自動車（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②三級二輪自動車（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	ドライブチェーン	ドライブチェーンの構造の再確認とタイプ別の整備方法、注意点など	②P71～72
第2回	クラッチ、ベルト式無段変速機	クラッチの種類、点検・整備方法の違いなど	①P61～65 ②P60～65,71
第3回	エンジンマウント及び脱着	エンジンのマウント方法及び脱着時の注意点など	②P99～100
第4回	フロントフォーク	フロントフォークの歴史と其々の概要	①P70～77 ②P74～76
第5回	フリーバルブフォーク	フリーバルブフォーク各部の役割、点検・整備及び調整方法	①P70～77 ②P74～76
第6回	カートリッジフォーク	カートリッジフォーク各部の役割、フリーバルブフォークとの違い	①P70～77 ②P74～76
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	リアサスペンション	リアサスペンションの歴史と其々の概要	①P69～78 ②P77～78
第8回	スイングアーム	スイングアームの種類、点検・整備方法の違いなど	
第9回	ホイール	ホイールの種類、ハブダンパ等の点検・整備方法	②P81～82
第10回	機械式ブレーキ	機械式ブレーキの種類、点検・整備及び調整方法	②P90～93

第 11 回	油圧式ブレーキ	油圧式ブレーキの種類、 点検・整備及び機械式との違いなど	①P89～91 ②P94～98
第 12 回	連動ブレーキ、ABS	前後連動ブレーキ及びABSの概要 点検・整備時の注意点など	①P92～93
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する 筆記試験	
到達目標	二輪車ならではの装置の理解と整備方法の習得。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		